

# 昭和60年度漁況海況予報事業浅海定線調査

(陸 奥 湾)

(要 約)

中谷 肇・高林 信雄・蛭名 政仁・浜田 勝雄  
横浜 昌夫・鈴木 常雄・本間 直吉・長津 司

この調査は、陸奥湾内における海況の特徴や永年変化などを把握して、湾内の漁業および増養殖業の健全な発展に資するため、海況予報に関する基礎資料を得ることを目的として実施したものであり、本年度は継続14年目の調査年度であった。なお、本調査の詳細については、別途、「昭和60年度漁況海況予報事業浅海定線調査結果報告書（陸奥湾）」（昭和61年3月）として報告した。

## 調 査 方 法

調査地点・回数：例年の6定点のほかにStn. A、Bを設け、任意選択して実施した。昭和60年中に計12回実施。

調査水深：0、5、10、20、30、40mおよび底層。Stn. A、Bは若干異なる。

調査項目：気象、透明度、水温、塩分、溶存酸素、クロロフィルa（4定点）、卵稚仔魚、動物プランクトン、植物プランクトン。

## 結 果

昭和60年の海況を月毎にまとめると次のようになる。なお、水温は1972～1983年の累年平均値を平年値とし、塩分の表示は「実用塩分1978」によった。

昭和60年1月：水温は西湾中央部で5.90～6.75℃で平年より1.47～2.07℃低め、東湾中央部では4.58～4.80℃で平年より1.87～2.19℃低めであった。塩分は33.711～33.883で、平年に比べて0.07～0.27高めであった。

2月：水温は、西湾側で4.88～5.30℃で平年より0.80～1.27℃低く、前月に比べて1.02～1.68℃降温した。東湾側では1.64～2.91℃で平年より1.14～2.93℃低く、前月に比べて2.61～2.96℃降温した。

塩分は33.662～34.101で平年より0.17～0.33高めであった。

3月：水温は、西湾側では3.37～4.80℃で平年より0.86～1.39℃低め、前月に比べて0.50～1.51℃降温した。東湾側では2.90～4.00℃で平年より1.17～2.93℃低め、前月に比べると0.12～2.07℃升温した。

塩分は33.795～33.973で全湾的にほぼ一様な分布を示している。

4月：水温は西湾側で5.10～8.00℃（平年差-0.86～+0.85℃）で前月に比べて1.60～3.40℃升温した。東湾側では4.80～7.50℃（平年差-0.86～+0.85℃）で前月に比べて1.70～3.40℃升温した。

塩分は33.078～33.932であった。

5月：水温は西湾側で7.40～11.40℃で前月より2.30～5.10℃昇温した。東湾側では7.00～11.90℃で前月より2.10～5.60℃昇温した。水深5～30m層の水温は全湾的に平年より0.30～2.80℃高め。

塩分は全湾的に33.020～33.703で平年並みであった。

6月：水温は、西湾側で9.20～14.80℃で平年より0.20～2.10℃低め、東湾側で8.60～14.90℃で平年並みであった。

塩分は33.066～34.121で全湾的に20m以浅で概ね平年並み、底層は平年より高めであった。Stn. 6以外の湾内底層に34.000～34.120の高塩分水の分布が見られた。

7月：水温は12.03～20.60℃で前月より2.75～7.25℃昇温した。全般に平年より高め、特に水深20～30層では平年より1.73～3.17℃高い。

塩分は32.257～33.930で全般に前月よりも低く、Stn. 4以外は平年より0.03～0.85低い。

8月：水温は14.02～26.5℃で、全湾的に前月より1.18～7.29℃昇温した。水深20m以浅では概ね平年より高め（平年差-1.3～+3.7℃）、底層では概ね平年より低め（平年差-2.3～+0.2℃）であった。

塩分は32.406～34.042で底層では平年並み、そのほかでは平年より0.2～0.9低めであった。

9月：水温は14.51～21.90℃で、20m以浅では8月よりも0.23～6.10℃降温し、30m以深では0.13～7.80℃昇温した。30m以浅の水温は平年より0.49～2.26℃高め。

塩分は33.037～34.235で、20m以浅では8月より0.08～0.84上昇した。30m以浅の塩分は平年より低めないしは平年並み。

Stn. 3の底層に低水温、高塩分の水塊が観測された。

10月：水温は16.94～19.64℃で、Stn. 1～3の底層で平年より0.49～1.19℃高めのほかは、全般に0.58～1.76℃低めで、30m以浅では前回の観測（10月1～4日）に比べて1.2～3.5℃降温した。

塩分は33.56～33.806で、全般に平年並みであった。

11月：水温は9.58～13.48℃で平年に比べると1.85～5.57℃低め、前回の観測（10月21～22日）に比べて4.8～8.4℃降温した。

塩分は32.976～33.529で平年より0.050～0.408低め。

12月：水温は7.90～12.75℃で前回の観測（12月2日～4月）に比べると0.07～3.60℃降温し、平年より0.25～2.31℃低い。

塩分は33.224～33.828で平年並み。

水温の最低値は、2月5日Stn. 5・20m層で観測された1.64℃で、最高値は、8月21日Stn. 6.0m層の26.5℃であった。

底層溶存酸素量の最低値は8月21日Stn. 5の4.52mg/lであった。

クロロフィルaはStn. 2、Stn. 4では2月、3月に0.4～0.8mg/m<sup>3</sup>であったが、1月および5～12月には概ね0.3mg/m<sup>3</sup>以下であった。Stn. A、Stn. Bでは4月、7月に0.2～1.06mg/m<sup>3</sup>であったが、そのほかは概ね0.2mg/m<sup>3</sup>以下であった。

透明度の最高値は2月6日、Stn. Aおよび4月17日、Stn. 5の25m、最低値は7月23日、Stn. 1の7mであった。